

**入場
無料**

医療の現場から見た 高周波式ハイパーサーミア システム療法の可能性



古倉 聡先生 櫻井 英幸先生 萩原 靖倫先生

プログラム ▶ 詳細は裏面に掲載

開会挨拶 13:30 ~ 13:35

講演 13:35 ~ 14:25

① 古倉 聡先生

日本ハイパーサーミア学会理事長
京都学園大学健康医学部教授
京都府立医科大学客員教授

休憩 14:25 ~ 14:35

講演 14:35 ~ 15:25

② 櫻井 英幸先生

筑波大学医学医療系放射線腫瘍学教授
筑波大学附属病院陽子線治療センター部長

講演 15:25 ~ 15:55

③ 萩原 靖倫先生

放射線医学総合研究所病院
消化管腫瘍科 医師

閉会挨拶 15:55 ~ 16:00

がん 治療のあり方 と向き合う

現在のがん治療は手術、放射線療法、化学療法いわゆる標準治療を中心として治療が行われ、先生方の努力により医療技術も急速に進歩しておりますが、それでも未だ、「がん」は国民の半数が罹患し3割の方の死亡原因となっております。国が安全性と有効性を認めた治療法であり、標準療法との併用でも効果が期待でき、さらに高いQOLも期待できる高周波式ハイパーサーミアシステム療法をより多くの患者さんが選択できる環境構築を目指し、私達は活動しています。

「市民公開講座 in 鶴岡」でのアンケートより

- とても興味深いお話でした。身内を2人、癌で亡くしてしまいましたので、そういう治療法があるとは知らなかったと思いますが、残念だったなと思いました。普通に慢性疾患として、この田舎でも治療できることを祈ります。特別ではなく当たり前になってほしいです。(60代女性)
- 癌にかかるリスクがこれからどんどん増えていくと思うと、このような新しい治療法があるのは大変心強いと感じました。(中略) せっかくの良い治療方法を私たちの地元でも受けられるようにしてほしいです。(20~30代女性)

2018(平成30)年

11月25日

午後1時30分~4時

山形国際交流プラザ
山形ビッグウイング 大会議室 (2F)

〒990-0076 山形市平久保100番地 ☎023-635-3100

**定員
350名**

定員を超えた場合は
入場できないことが
あります。



当日は駐車場が混み合うことが考えられます。早めの来場と、乗り合いでの来場にご協力願います。

主催 東北にハイパーサーミアを広げる会

協力 株式会社庄内クリエート工業、ハーモナイズ株式会社、他

後援 山形県、毎日新聞社、山形新聞・山形放送、庄内日報社、第一生命保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、AIG損害保険株式会社、株式会社フィデア総合研究所

お問い合わせ先 **東北にハイパーサーミアを広げる会 事務局**

株式会社 庄内クリエート工業
連絡先 0235-24-7922

担当 今井

講演1 13:35～14:25

「ハイパーサーミアを併用した集学的治療で癌と上手に付き合しましょう」

古倉 聡 先生 日本ハイパーサーミア学会理事長、京都学園大学健康医学部教授、京都府立医科大学客員教授

プロフィール

- 昭和60年3月 京都府立医科大学を卒業。その後母校京都府立医科大学などで臨床に従事。
- 平成元年4月 京都府立医科大学大学院博士課程に入学。
- 平成5年3月 京都府立医科大学大学院博士課程卒業。その後、母校、国立舞鶴病院、康生会武田病院などで臨床医として活躍、活性酸素やフリーラジカルと各種疾病との関連の研究を行う。
- 平成9年4月 渡米、ルイジアナ州立大学の分子細胞生理学教室に留学し、接着成分の発現や免疫の研究において重要な業績を残す。
- 平成12年3月 帰国、京都武田病院消化器内科部長などの要職に就きながらハイパーサーミアも用いて患者さんの治療に当たり多くの患者さんの力になる、母校の講座も持ち、その上、腸管の免疫機構、ヒートショックプロテインの研究等を進める。
- 平成19年4月 京都府立医科大学医学部生体安全医学講座准教授、免疫内科准授を併任されるなど、学生の育成に尽力する。
- 平成24年9月 国際ハイパーサーミア腫瘍学会事務局長に就任。
- 平成25年7月 京都学園大学開発教育センター教授に就任。
- 平成26年9月 アジアハイパーサーミア腫瘍学会理事長に就任。
- 平成27年4月 京都学園大学健康医学部教授、京都府立医科大学客員教授と次々に要職に就く。
- 平成29年9月 日本ハイパーサーミア学会において、日本ハイパーサーミア学会第7代理事長に就任。海外からの講演依頼等に積極的に応対。

講演2 14:35～15:25

「がんの放射線治療とハイパーサーミア」

櫻井 英幸 先生 筑波大学医学医療系放射線腫瘍学教授、筑波大学附属病院陽子線治療センター部長

プロフィール

- 平成3年 群馬大学医学部 放射線医学教室助手
- 平成9年 群馬大学医学部院内講師
- 平成13年 群馬大学大学院医学系研究科講師(腫瘍放射線学)
- 平成18年 群馬大学大学院医学系研究科助教授(腫瘍放射線学)
- 平成19年 群馬大学大学院医学系研究科准教授(腫瘍放射線学)
- 平成20年7月 筑波大学人間総合科学研究科教授(放射線腫瘍学)
- 平成20年10月 筑波大学陽子線医学利用研究センター長
- 平成25年 群馬大学客員教授
- 平成26年4月 筑波大学附属病院病院長補佐
- 平成27年10月 筑波大学附属病院陽子線治療センター部長
- 平成27年4月 筑波大学附属病院副病院長(安全管理、医療倫理、癌診療推進)

講演3 15:25～15:55

「山形大学で導入予定の重粒子線治療について」

萩原 靖倫 先生 放射線医学総合研究所病院、消化管腫瘍科 医師

プロフィール

- 平成20年3月 山形大学医学部卒業
- 平成20年 山形大学医学部附属病院 初期臨床研修医
- 平成23年 公立置賜総合病院 放射線科
- 平成24年 山形大学医学部附属病院 放射線治療科
- 平成25年 山形大学医学部東北未来がん医療学講座 助教
- 平成27年 神奈川県立がんセンター放射線腫瘍科
- 平成29年 山形大学医学部大学院修了
- 平成30年 放射線医学総合研究所病院